カンナ坂だより

第 50 号
令和 8 年 10 月
編集発行
社会福祉法人 九頭竜厚生事業団
九頭竜ワークショップ
広 報 委 員 会
☎ 0779-87-3003



もくじ

理事長挨拶、自治会新会長挨拶、地域連携推進会議… 2
「カンナ坂だより」 創刊30周年50号記念特集 … 3
行事紹介 …… 4
福井県障がい者スポーツ大会、花火大会 …… 5
新規利用者・新採用職員紹介 …… 6
財務諸表 …… 7
寄付・寄贈、保護者会『芸術・スポーツ活動支援事業』、編集後記 … 8

就労支援事業所作業所の統合移転新築工事が始まりました

社会福祉法人　九頭竜厚生事業団
理事長 兼 九頭竜ワークショップ所長
五十嵐　研治郎



日頃より当法人の運営並びに事業活動に対し、格別のご理解とご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

このたび九頭竜ワークショップ就労支援事業所では、将来を見据えた事業運営のあり方などを総合的に検討した結果、平泉寺町本部施設群にある作業所を市内上高島分場へ移転・統合するため、新しい作業所の建設に着手いたしました。八月末から新築工事を開始し、新たな事業拠点の整備を進めております。

障がいのある方々が住み慣れた地域の中で安心して働き、一人ひとりが持つ力を発揮しながら、主体的かつ豊かな生活を送ることができるよう支援することは、私たちに課せられた重要な使命であります。今回の移転・統合は、限りある経営資源を有効に活用しながら支援体制の充実を図り、時代の変化や多様な利用者ニーズに応えるための大切な歩みであります。

新たな作業所では、利用者の皆様にとって安全で快適な就労環境を整備するとともに、より質の高い支援の提供に努めてまいります。また、地域社会との連携を一層深めながら、誰もが支え合い、安心して暮らせる共生社会の実現に貢献してまいる所存です。

さて、当法人は来年度、令和九年十月に創立五十周年という大きな節目を迎えます。この半世紀の歩みは、多くの利用者の皆様、ご家族の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様のご支援とご協力の賜物であり、あらためて深い感謝の意を表します。現在、この記念すべき節目に向けて、次の時代を見据えた法人の将来像や進むべき方向性を示す「ビジョン」の策定を進めております。

また、本年十月二十四日には、第四十九回九頭竜ワークショップ文化祭と併せて、「創立五十周年記念プレイベント」を開催いたします。保護者の皆様をはじめ、市長様、区長様などのご来賓並びに地域の皆様にも広くご参加いただき、交流と親睦を深める機会となることを願っております。多くの皆様のご来場を心よりお待ち申し上げております。

結びに、当法人はこれからも「地域とともに歩み、人を支え、人を育む」という福祉の原点を大切にしながら、利用者の皆様の幸福と地域社会の発展に寄与できるよう努めてまいります。今後とも変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ごあいさつ

自治会会長　宮脇　直子



みなさん、こんにちは。

このたび、自治会長を務めることになりました宮脇直子です。以前は副会長をしていましたが、今回は会長として、みなさんと一緒に楽しい自治会をつくっていきたいと思っています。

今年は創作活動にも力を入れています。みんなでアイデアを出し合ったり、作品づくりを楽しんだりしながら、一緒に頑張っています。作品が完成したときの喜びや、仲間と協力して取り組む時間を大切にしています。

自治会でも、みなさんが笑顔で参加できる行事や活動を増やしていきたいです。困ったことや「こんなことをやってみたい」ということがあれば、ぜひ気軽に声をかけてください。みなさんの意見を大切にしながら、楽しく過ごせる自治会にしていきたいと思います。

これからも、みなさんと助け合い、笑顔いっぱいの施設を目指して頑張ります。どうぞよろしくお願いします。

地域連携推進会議が開催されました

令和八年七月から八月にかけて、障害福祉施設「七瀬の郷」「しずかの郷」「上野の郷」「いずみの郷」において、地域連携推進会議を開催しました。

はじめに、利用者の皆様の生活の様子や、職員による日々の支援の状況を見学していただきました。その後、施設の運営状況や、利用者の事故防止、権利擁護に向けた取り組みなどについて説明を行い、意見交換を行いました。

意見交換では、日頃の活動内容や、利用者の皆様が安心・安全に生活していただくための取り組み、地域との連携などについて、活発な意見が交わされました。

参加者の皆様からは、地域とのつながりをさらに深めるためのご提案や、施設運営に関する貴重なご意見をいただき、大変有意義な会議となりました。

今後も、地域の皆様に施設や利用者のことをより深く理解していただけるよう努めるとともに、地域とのつながりを大切にしながら、サービスの透明性と質の確保に努めてまいります。



地域連携推進会議の様子



施設見学

カンナ坂だより
創刊30周年50号記念特集


カンナ坂だより

「カンナ坂だより」発刊に当たって

所　長　五十嵐　閑

カンナ坂だより創刊号（平成８年９月発刊）

「カンナ坂だより」発刊に当たって



所　長　五十嵐　閑

私共の願いは、身体的に、精神的に、また高齢であるが故に社会生活上ハンディのある方々が、それぞれの足らないところを補い合いながら、共に助け合って生活していける場をつくることであります。

（中略）

今後とも、創立時の理念である、タテ割り的な施設ではなく、自立生活の困難な方々が共に助け合って生活し、地域の人々とも支え合える総合福祉施設づくりを進めていきたいと考えております。

「カンナ坂」とはワークショップへと続く坂道のことです。施設を訪れる方々に少しでも安らぎを感じていただきたいという思いから、職員が力を合わせてカンナの花を植えました。

この『カンナ坂だより』が、施設の入所者、ご家族、地域の皆様、ボランティアの方々に末永く愛され、継続されるよう祈念しております。

（一部抜粋）

カンナ坂だよりの歴史

平成８年　創刊号発行（モノクロ印刷）
平成14年　第８号　二色刷りへ
平成19年　第14号　フルカラー化
平成23年　第20号　ホームページ開設
平成29年　創立40周年を迎える
令和３年　ホームページリニューアル
令和８年　創刊50号・創刊30周年



写真で振り返るカンナ坂だより



冬まつりでは、毎回、職員が練習の成果を発揮し、劇を披露しましたね。



収穫祭には秋空の元、採れたてのサツマイモを食べたりしておいしかったですね。



マダム＆フェニックス様が素敵なコーラスを聴かせてくれましたね。

4月 花まつり

お釈迦様の誕生をお祝いし、所願成就をお祈りしました。





西宮寺住職 三嵜霊証様に、読経していただきました







行事紹介





6月 あおば祭り

青葉が茂る晴れの日に、待ちに待ったお祭りを開催しました。皆さん模擬店やアトラクション等、大いに楽しまれていました。













福井県障がい者スポーツ大会

令和８年５月から６月にかけて、第16回福井県障がい者スポーツ大会が開催されました。多くの方が参加し、日ごろの練習の成果を発揮されました。選手の皆さま、大変お疲れさまでした。



メダル獲得者

【就労支援事業所】

三嶋　麻里 様：25m自由形・バタフライ
米澤　幸三 様：アキュラシー
水野　啓子 様：50m走・ソフトボール投げ
高間　亮治 様：400m走・走り幅跳び
畑　　好美 様：ソフトボール投げ・砲丸投げ
水野　政人 様：ソフトボール投げ
高橋　徳一 様：砲丸投げ
柳原　大樹 様：砲丸投げ

【上野の郷】

石川　恵介 様：400m走・走り幅跳び

【いずみの郷】

辻井　光春 様：ボウリング
伊藤　義則 様：ディスタンス
三田村智夜子 様：ディスタンス
中嶋　愼雄 様：アキュラシー

水泳



ボウリング





卓球





フライングディスク



陸上













8月 花火大会

天候不良により延期になった８月花火大会が９月２日に行われました。夜空に広がる大輪の花に目も心も奪われました。



新規の利用者様紹介



しずかの郷
齋藤　華英 様



上野の郷
山内　和代 様



就労支援事業所
石井　章啓 様



就労支援事業所
女性利用者1名

新規の職員紹介



しずかの郷
(生活支援員)
巻寄あいか

新しい気持ちで頑張ります。
よろしくお願いします！



しずかの郷
(栄養士)
石川　梨乃

一生懸命頑張ります。



上野の郷
(生活支援員)
森　優貴

安心・安全・事故の防止に努めていきたいと思います。
何卒よろしくお願いします。



いずみの郷
(生活支援員)
石塚　珠

利用者さんを笑顔にできるよう、一生懸命頑張ります。



シルバーケア
(介護職員)
パーク
(ヨームプラコーンペンポーダイ)

まだまだ勉強中ですが、利用者さんのために一生懸命頑張ります。



シルバーケア
(介護職員)
ミルク
(サップガムライペッチャラット)

利用者様の笑顔を見るだけで、仕事を続ける力をもらえます。



シルバーケア
(介護職員)
松浦　康誠

日々、熱意を持って全力で仕事に取り組みます！



医療部
(介護職員)
兼
(言語聴覚士)
中川　莉奈

不慣れな部分もありますが、まずは人として、多くの利用者さんと信頼関係を築くために、沢山関わり、その人らしさを理解できるように向き合っていきたいと思います。



あさひけや
ハイツ九頭竜
(介護職員)
中村　生代

いつまでも健康で仕事を続けたいです。

令和7年度　社会福祉法人　九頭竜厚生事業団　財務諸表

令和8年6月2日開催の理事会・6月17日開催の評議員会で承認されたものを掲載しております。　（単位：円）

貸借対照表　（令和8年3月31日現在）

科目		科目	
資産の部		**負債の部**	
流動資産	1,840,344,971	流動負債	274,718,694
固定資産	2,967,072,265	固定負債	162,600,466
基本財産	1,723,197,079	負債の部合計	437,319,160
その他の固定資産	1,243,875,186		
		純資産の部	
		基本金	388,794,700
		国庫補助金等特別積立金	278,923,923
		その他の積立金	770,529,046
		次期繰越活動増減差額	2,931,850,407
資産の部合計	4,807,417,236	負債及び純資産の部合計	4,807,417,236

事業活動計算書		資金収支計算書	
サービス活動収益計	2,126,707,753	事業活動収入計	2,145,538,942
サービス活動費用計	2,131,535,691	事業活動支出計	1,984,949,810
サービス活動増減差額	-4,827,938	事業活動資金収支差額	160,589,132
サービス活動外収益計	18,831,189	施設整備等収入計	7,156,589
サービス活動外費用計	5,111,403	施設整備等支出計	109,055,653
サービス活動外増減差額	13,719,786	施設整備等資金収支差額	-101,899,064
経常増減差額	8,891,848	その他の活動収入計	63,955,839
特別収益計	12,474,371	その他の活動支出計	98,666,931
特別費用計	9,337,867	その他の活動資金収支差額	-34,711,092
特別増減差額	3,136,504	当期資金収支差額合計	23,978,976
当期活動増減差額	12,028,352		
前期繰越活動増減差額	2,954,213,242	前期末支払資金残高	1,607,086,856
当期末繰越活動増減差額	2,966,241,594	当期末支払資金残高	1,631,065,832
その他の積立金取崩額	30,108,813		
その他の積立金積立額	64,500,000		
次期繰越活動増減差額	2,931,850,407		

寄付・寄贈一覧（順不同）

令和８年２月１日～令和８年８月31日

平泉寺地区社会福祉協議会　様
ウチフク機械　様
上山商店　様
マキノ香陽堂　様
㈱深谷　様
エムビー商事　様
データシステム㈱　様
㈱明光建商　様
県立奥越特別支援学校　様
神戸大学　様
勝山安全運転管理者協議会　様
㈱ほくつう　様
ENEOS グローブエナジー㈱　様

ご寄付・ご寄贈いただきましてありがとうございました。心より感謝申し上げます。

保護者会のご支援で、こんな活動が広がりました

令和７年度 保護者会による「芸術・スポーツ活動支援事業」により、
各事業所での活動に必要な備品を購入させていただきました。

しずかの郷では、デジタルカメラとSDカードを購入しました。日々の活動や行事など、利用者の皆さんの様子や思い出を写真に残すために活用しています。

上野の郷では、大型テーブルを購入しました。創作活動で使用しており、大型の制作物や、共同制作ができるようになり作品制作の場面で大いに活躍しています。

いずみの郷では、ミュージック・ケアで使用する楽器類を購入しました。新たな取り組みとして「サウンドヒーリング（音響療法）」にも挑戦しており、音楽やさまざまな音を通じて、利用者の皆様が心地よく過ごせる時間を提供しています。

七瀬の郷では、ゲーム用品、家庭菜園用品、電子レンジを購入しました。ゲームを通じた余暇活動や、家庭菜園での野菜づくりなど、利用者の皆様が楽しみながら取り組める活動に活用しています。

今回のご支援により、利用者の皆様の創作活動や音楽活動、余暇活動など、日々の楽しみの場がさらに広がりました。保護者会の皆様の温かいご支援に、心より感謝申し上げます。

編集後記

このたび「カンナ坂だより」は、発刊50号という大きな節目を迎えることができました。私が広報誌づくりに携わって早15年。日々の暮らしや行事、施設の取り組みなどを発信してきました。時代の流れとともに、ホームページでの情報発信も始まりました。これからも施設の魅力をお伝えし、皆さまとのつながりを大切にしてまいります。次の100号を目指し、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。　（鶴野）

▲ホームページ

印刷：朝日印刷株式会社